



教 成 館

関小だより

【学校教育目標】

- よく学び工夫する子ども
- 健康で明るい子ども
- きまりを守り、助け合う子ども
- 責任をもちやりぬく子ども

子供たちの登下校について



来年度の『ゾーン 30』化に向けて標示が変わった学校西側のバス路線

2 学期になって 1 か月半が過ぎました。校庭への車の乗り入れができなくなりご不便をおかけしていますが、普段の登下校でもたくさんのご協力を頂戴しています。ありがとうございます。

特に、2 学期当初は生活リズムが整わないためか、どうしても多かった校地西側の路上に停車しての児童の送迎も、日を追うごとにずいぶん少なくなったと感じております。

上の写真は途中経過ですが、この道路は近いところで制限速度が 30 km のセンターラインが無い道路になります。また、両端には自転車の走行ゾーンが設けられ、車の走行部分の幅が狭くなります。そのため、停車が断続的に続く規模の大きな渋滞が発生し、徒歩で通学している児童や地域の一般の方々の安全にも影響が出ると予想されます。

例えば松葉づえが必要な場合や車いすを用いる場合などは、健康面での早退の場合と同様に西側校地内のスペースにご案内しますのでご相談ください。

そうでない場合は、校報第 1 号でもお伝えしております通り「自宅から徒歩で登下校させるか、通学路途中から徒歩で登下校させるなどの配慮」につきまして、引き続きご理解とご協力をお願いします。



校外学習の移動

社会科見学などに加えて、体育の授業で運動公園に行く場合もあり、子供たちはスクールバスに乗車する機会が増えています。乗車場所をご家庭で掲示等していただいている『校舎等建設工事に伴う関小の生活』の⑧の地点（エヴァホールいちのせきさんの近く）のゼブラゾーンがある場所です。

教育委員会を通じて警察の交通課に相談し、「短時間での乗降」の約束のもとで、交差点を渡ることなくバスに乗れています。子供たちの動きがよく活動時間も確保できています。